

■ 成果指標

| 指標 | 単位 | 現状値 | | 実績値 | | | | 目標値 | |
|----|--------------------------|-----|--------|-----|--------|----|----|-----|--------|
| | | | | R4 | R5 | R6 | R7 | | |
| 1 | 市や団体等が主催するスポーツ教室・大会の参加者数 | 人 | 11,930 | R2 | 21,242 | | | | 22,000 |
| 2 | スポーツ関連団体の構成者数 | 人 | 4,423 | R2 | 4,345 | | | | 4,800 |
| 3 | 市内の主な運動施設の利用率 | % | 70.3 | R2 | 74.3 | | | | 76.5 |
| 4 | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | |

■ 市民アンケート調査

| 項目 | | 現状値 [R2] | 1次 [R5] | 2次 [R6] | 市民アンケートの考察 |
|----|---------------|------------|---------|---------|------------|
| 1 | スポーツ施設が充実している | 重要度 0.87 | | | |
| | | 満足度 ▲ 0.20 | | | |
| 2 | | 重要度 | | | |
| | | 満足度 | | | |
| 3 | | 重要度 | | | |
| | | 満足度 | | | |
| 4 | | 重要度 | | | |
| | | 満足度 | | | |

■ 施策推進 [施策の方向]

| 施策の方向 | 施策推進に関する考察 |
|--------------------|---|
| ① スポーツ活動の推進 | コロナ禍により中断していたスポーツ推進委員による市イベントを再開させるとともに、総合型地域スポーツクラブ等の団体のイベントへの支援を行った。 |
| ② スポーツ団体の育成と競技力の向上 | 市スポーツ協会を通じた各種競技団体への支援を行うとともに、激励金制度等による全国・東海などの高レベルの競技大会出場への支援を行った。 |
| ③ スポーツ文化の浸透 | 三重ホンダヒートと連携した市民応援DAYの実施などによるスポーツを見る機会づくりや、スマホによるウォーキングイベントの参加促進など運動機会づくりに取り組んだ。 |
| ④ スポーツの拠点づくり | 指定管理者と連携した運動施設の利用促進を図りつつ、学校開放の利用促進を図った。また、西野公園テニスコートの全面改修などにより施設改修を進めた。 |
| ⑤ | |
| ⑥ | |
| ⑦ | |

総合評価

スポーツ活動の推進については、コロナ禍で途絶えていたイベントについても、スポーツ推進委員と連携しながら開催することができた。また、各種団体によるイベントも徐々に再開が進み、こうしたイベント等を通じて市民のスポーツ活動の促進を図ることができた。また新たな取り組みとしてアーバンスポーツの普及及び環境づくりについて、スケードボード場の確保について検討を行った。スポーツ団体の育成と競技力の向上については、全国大会等の上位大会への出場者への激励金や旅費補助金などが想定以上に増加しており、スポーツ協会をはじめとした各競技団体等の活動により競技力の向上につながっていると考えられる。スポーツ文化の浸透については、運動施設の指定管理者による新たなスポーツイベント(スポーツフェスティバル)や、スマホを活用したウォーキングイベントへの参加促進を図ることで、運動やスポーツを体験する機会づくりを進めることができた。また、三重ホンダヒートと連携した市民応援DAYを新たに実施し、ハイレベルな競技に触れる機会づくりを行い、スポーツを見る機会にも繋げることができた。スポーツの拠点づくりについては、西野公園テニスコートの全面改修をはじめとした必要な施設改修を進めることで、スポーツ環境の充実を図ることができた一方、施設全体としては老朽化の弊害も出ており、関B&G海洋センタープールはR5.1下旬の寒波の影響でボイラー設備が故障し、1か月以上の期間で利用停止をせざるを得なくなるなど、利用者に不便をかけることもあり、引き続き、計画的な施設の改修や修繕の対応が必要である。

B

まずは進んだ

今後の展開方針

各種団体やスポーツ推進委員と連携し、イベントの提供機会の確保・充実を図るとともに、新たに取り組むアプリーウェルネス推進事業と連携し、健康につながる運動機会づくりを進める。また、スケードボード場の試験的な解放事業を実施し、市民ニーズを把握したうえで、整備の方向性を確定する。スポーツ活動を行う団体等の活動支援を行いつつ、全国大会等への出場への支援について、その拡充や新たな支援策の検討を行い、ジュニアスポーツの活性化を図る。指定管理者や三重ホンダヒートなどの民間機関との連携を図りながら、スポーツをみたり楽しんだりできる機会づくりに取り組む。運動施設については、引き続き計画的な改修を進めつつ、令和6年度からの新たな指定管理者の選定を進め、利用者に利便性の向上に取り組む。